

論 文

学校現場において求められる保健体育科教員の資質とは何か。

—教育の不易と流行—

What is the Nature of Health Physical Education Teachers in Schools

—Education of Immutable and Fashion—

羽田 聡

Satoshi HANEDA

Key words : 使命感 (Sennse of mission), 専門性 (Experrtise), 不易と流行 (immutable and fashion)

はじめに

多様化・複雑化する変化の激しい現代の社会情勢にあって、教育現場では、将来を担う児童生徒に対して、教員には基礎・基本を教え、豊かな心を育て、「生きる力」を育む使命が強く求められている。

そんな中、学校現場において、保健体育科教員が担う役割は何か。38年間高校教員として携わってきた経験から、教育の不易と流行の観点から述べていきたい。

1 教育の不易の部分について

教育現場は、教員が児童生徒に対して教育活動を行う場であり、特に授業の場では一教員がその教室のすべての児童生徒を預かるのであり、教員の一言一句が直接児童生徒に響いていく。その責任は大きいものがあるとともに、教育者としての強い使命感を堅持し続けねばならない。

よって教員は「自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない」のである。「教育は人なり」といわれる所以である。

(1) 教員として求められるもの

①教職公務員としての自覚と行動

・校務分掌やクラス担任等を通して、与えられた職務に主体的に当たり、教職員組織の一員としての責任を果たすことが求められる。

・全体の奉仕者としての公務員である自覚と順法精神を常に意識した、責任ある行動が求められる。

②教科に関する専門的知識と実践的指導力

・教員にとって児童生徒の変容を期待する「授業」が勝負の場であり、児童生徒一人一人の成長段階をよく見極め、個々に応じた適切な指導が求められる。

・授業を行うにあたっては、大学で学んだ専門的知識と経験から得た知恵を駆使して、児童生徒の成長のために誠意と信念を持って取り組まなければならない。

③児童生徒に対する教育的愛情と公正・公平

・クラス経営や部活動指導を通して、将来を担う児童生徒の成長・発達に当たっている自覚を持ち続ける必要がある。

・担任として顧問として人間性豊かに愛情をもって取り組み、良好な人間関係・信頼関係を築かねばならない。

・多くの児童生徒を指導する教員は、常に公正で公平な態度を以って、職務に当たらねばならない。

④進路実現を図る

・所謂、児童生徒の「出口」への適切な対応である。児童生徒の希望や将来性・可能性を的確に勘案し、本人・保護者と綿密な連携を図り、後悔をさせないよう進路実現を果たす大きな役割を担っている。

⑤幅広い教養と感動する心

・児童生徒は感動することで、新しい資質に気付き成長していく。教科指導だけでなく、自然や芸術、諸文化に触れさせ、感動する心を持たせたい。そのためにも、教員自らが幅広い教養に触れ、感動する心を持つ必要

がある。

#### ⑥安全で安心、明るく元気な学校づくり

- ・学校は児童生徒が安全で安心できる環境を整える必要がある。教員は、施設設備管理、防火防災能力、救急救命能力等を身に付けるとともに、組織的に適切に対応していかねばならない。
- ・明るく元気な学校であれば、自ずと児童生徒も明るく元気に成長し教育効果も大いに上がる。そのためにも、教員自らが適切な健康管理に取り組み、常に明るく元気でありたい。

#### (2) 保健体育科教員に求められるもの

就職において、会社・企業が運動部活動部員を求めるのはなぜか？校務分掌において生徒指導担当に保体科教員が多いのはなぜか？これらについて考察することで、保体科教員に求められる資質が見えてくる。

#### ①強い忍耐力

- ・高校の運動部活動や大学の経験の中で、高い競技力と専門性を追及していく中で、成功体験だけでなく、負けた悔しさや失敗等の挫折体験から多くを学ぶことができ、困難に負けない強い忍耐力を身に付けている。
- ・その経験値をもとに、幅広い視点で個々の児童生徒に適切に対応することが期待できる。

#### ②幅広い知識

- ・体育については、運動技能の向上のみならず、体力や競技力向上のために、トレーニング方法やコンディショニング管理、栄養管理等幅広く学んでおり、児童生徒の体力向上や競技力向上を期待できる。
- ・保健分野の学びを通して、健康管理・保健分野に精通することで、健康的な生活の向上について指導することができ、さらに児童生徒に「生きる力」を身に付けさせることが期待できる。

#### ③集団生活の経験

- ・部活動を通して、日々の練習や合宿・遠征等集団生活を多く経験することで、組織における人間関係を適切に構築する中で、礼節・協調性・帰属性等を身に付けていることが期待できる。そのことが学校組織の中で役立つ場面が多い。

## 2 教育の流行の部分について

教育にはその時代の要求、地域の期待するところ、学校の目指すところに対応・適合した業務の遂行が求められる。

#### (1) 時代の要求に応える

憲法、教育基本法、学校教育法等の基本法のもと、社会の変化に対応して約10年ごとに学習指導要領が改訂されており、教員はその趣旨に則った学習指導を展開していかねばならない。

特に、今回の改訂にあたっては、アクティブラーニングの手法を活用し、「主体的・対話的で深い学び」が求められている。保健体育の授業の場面でも、一方通行的な指導ではなく、児童生徒が主体的に思考判断し、表現力を活かした対話が活発化し、自分たちで課題解決していく授業法を確立する必要がある。今後、保健体育科教員も様々な情報をもとに、ICT等の活用による科学的根拠を背景とした指導法等工夫をして、授業改善していかねばならない。

#### (2) 地域の期待に応える

学校に対する地域からの要望は様々なものがあるとともに、その期待は大きい。例えば、高齢者施設での慰問や小中学校での指導補助、フェスティバル等での協力等、ボランティア活動を体験できる機会が多い。また、安全で安心、明るく元気な学校であれば、地域は喜んで児童生徒を送り込んでくれる。交流活動等を通して、地域との信頼関係を築いていきたい。

#### (3) 学校の目指すところに応える

学校は、児童生徒の実情や地域の期待等を踏まえて、校長を中心に求める学校像を目標に教育活動に当たっている。場合によっては校長が代わったり、児童生徒の実情が変化すれば、目指す学校像も変わりうる。その変化に俊敏かつ適切に対応するとともに、組織的に課題解決していく必要がある。

## おわりに

保健体育科教員は、授業以外に部活動指導や大会運営に携わるなど多忙である。しかし、そこまで自らを育ててくれた体育スポーツを通して、次代を担う児童生徒に「生きる力」を身に付けさせ、「豊かな心」を育むことに強い使命感を持ち、高い専門性を駆使して、教育活動に当たることを期待したい。

現在の大学生が保健体育科教員を目指す理由は、「これまでに指導された先生を慕って」ということが一番多い。素晴らしい経験を積んできているわけであるが、その経験のみを根拠に指導していくのではなく、目の前にいる児童生徒の実態をよく見極めるとともに、科学的根

学校現場において求められる保健体育科教員の資質とは何か。

扱の活用や工夫した授業法で、教育活動に取り組むことを期待したい。

教職を目指す学生には、そんな資質と覚悟について大学での様々な体験を通して大学で学んでほしい。

### 参考文献

「高等学校 学習指導要領」 文部科学省